

# 受験案内

東京海洋大学大学院  
博士前期課程  
海運ロジスティクス専攻

# よくある疑問：船の運航や物流だけですか？

確かに、海運ロジスティクス専攻の中心は、船舶の安全で効率的な運航と物流システムの高度化です。

しかし、それらを支える情報工学・最適化・制御・データ工学・環境・経済・法学・数理科学など、さまざまな分野を研究しています。

- 学部時代には船や物流を学んでいない学生も多数在籍しています。

# 海運ロジスティクス専攻の専門分野

- 船舶の安全運航と海上輸送の効率化
- 情報通信・自動制御・最適化による次世代の海運技術
- 海洋構造物への船舶運航技術の応用
- 海・陸・空をつなぐ国際物流システム
- 物流経営・物流政策・流通情報の研究
- 関連する語学・法学・数学・情報工学・経済学などの基礎分野

このように幅広い分野を研究しています。

# 本専攻で学ぶメリット

- 国立大学なので、授業料の負担を抑えて進学できます。
- 少人数で、きめ細かな研究指導を受けられます。
- AI・データサイエンスに関する研究・教育も充実しています。
- 海運・物流業界とのつながりが強いです。
- 情報分野への就職も好調です。

# そもそも大学院では何を学ぶのか

- 大学院は主に**研究を通じて**、専門的な知識・技術を身に付ける場です。
- 教員の助言を受けながら、自分で課題を見つけ、調査・分析・実験・考察を重ねていきます。その**経験**が社会に出た際に役に立ちます。
- 講義を通じて、専門分野の周辺知識を学ぶこともできます。

# 大学院に進学するメリット

## 専門性の深化

- 最新の研究に触れることで、自分の視野も広がります。
- 2年間かけて一つのテーマを深く追求できます。

## 実践的スキルの習得

- 長期プロジェクトを通じて問題解決力が身につきます。
- 論文執筆や学会発表を通じて論理的思考力やプレゼン力が身につきます。
- 企業との共同研究、インターン機会も豊富です。

## キャリアの選択肢が広がる

- 博士進学や海外大学院進学の道も開けます。
- 専門家として研究機関・公的機関で働く可能性も生じます。

# 大学院入試について

大学公式情報はこちら

<https://www.kaiyodai.ac.jp/entranceexamination/graduate/>

最新の情報は必ず公式情報をご確認ください。

# 大学院を受験するには？（外部生向け）

- 筆記試験（第一次）※  
出願：5月末頃～6月 試験：8月
- 筆記試験（第二次）  
出願：4年生の12月 試験：1月

ですが、**その前に指導予定教員の承諾が必要**なので、興味をもったら早めにコンタクトしてください。後述の専門科目も、指導予定教員によって変わります。連絡先は、募集要項の指導教員一覧をご覧ください。

※筆記試験免除の推薦試験もありますが、指導予定教員の方針にもよります。入学後は工学系の科目を履修する必要があるため、筆記試験に合格できる学力は必須です。また、推薦試験を受けられるのは、合格後の入学を確約できる方に限られます。

# 大学院に進学するには？（内部生向け）

- 推薦試験※  
出願：4年生の5月末頃 試験：6月から7月  
（そこそこの成績で対象になる）
- 筆記試験（第一次）  
出願：4年生の5月末頃～6月 試験：8月
- 筆記試験（第二次）  
出願：4年生の12月 試験：1月

いずれにしても指導予定教員の承諾が必要なので、特に大学院から指導教員が変わる場合は早めに相談しましょう。

※推薦試験を受けられるのは、合格後の進学を確約できる方に限られます。

# 入試科目・出願資格

※年度により変わり得るので、必ず最新の募集要項を確認してください。

## 推薦試験

- 良好な学部成績、TOEICのスコア（2年以内）、志望理由書が必要です。基準は公開しておりませんが、TOEICは4年次進級基準を満たす程度で可能です。志望理由書には研究計画が含まれますが、なるべく指導予定教員に一度見てもらいましょう。推薦が不合格の場合でも筆記試験が受けられます。
- 口述試験：志望理由書の研究計画を自分の言葉で説明できるようにしてください。特に、なぜその研究が重要か（研究背景）、どこに新規性があるのか（独創性）説明できるようにしてください。

## 筆記試験

- 共通科目：数学・情報システム工学・環境システム工学・海洋テクノロジー学・流通システム工学・流通経営学から一つ選択してください。数学以外の分野は問題は毎年変わるので当該分野の基礎を網羅的に学習する必要があります。数学は1年生の範囲＋常微分方程式で、過去問を勉強すればできるように作成されています。
- 英語：独自試験もありますが、TOEICスコアの読み替えもあるので、TOEICのスコアがある方が有利です。2年以内に受けていないといけないので準備しましょう。
- 専門科目：志望する研究室毎に問題が作成されます。
- 志望理由書と口述試験（口頭試問）：推薦試験と同様です。